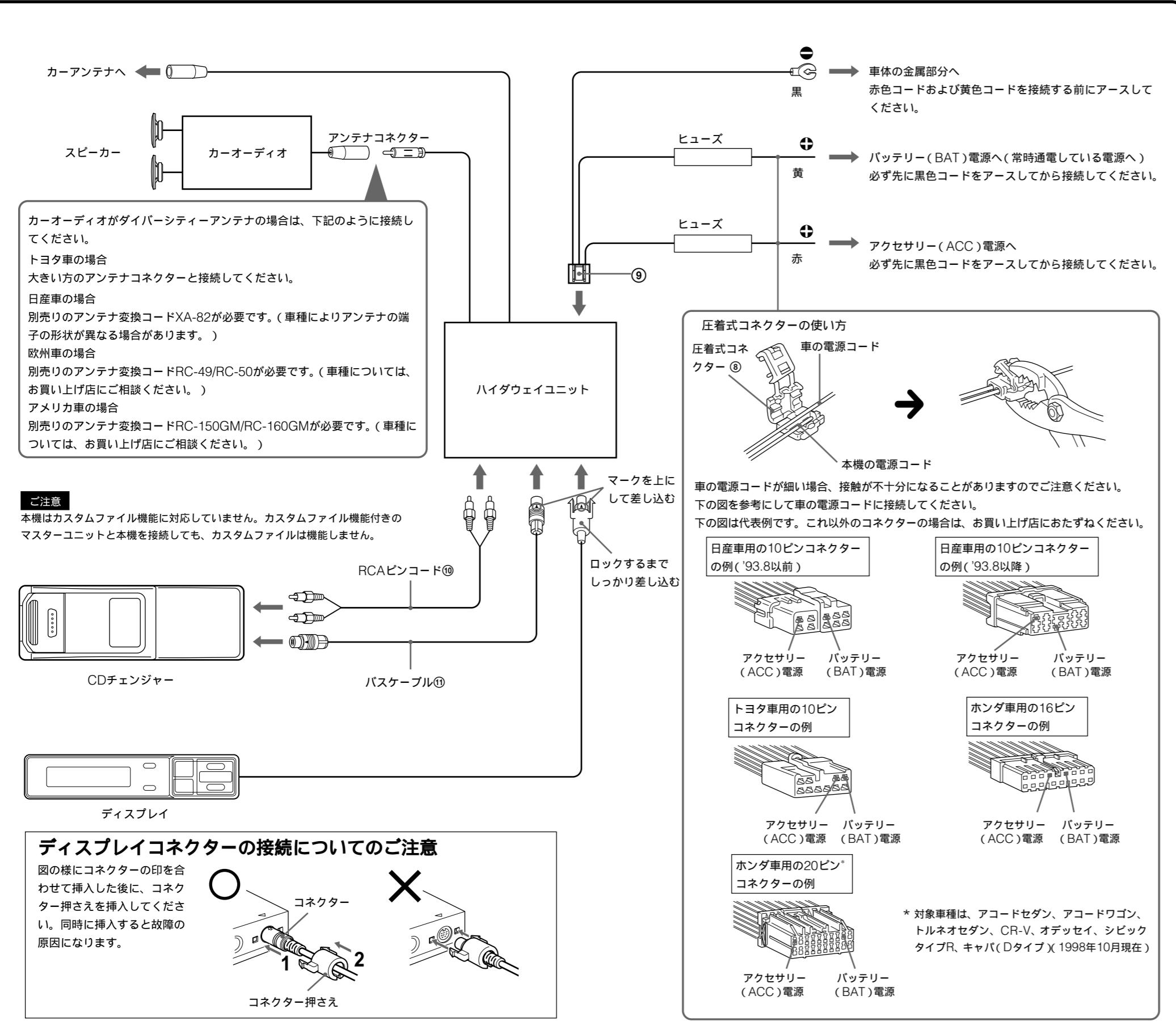


接続

必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。
別売り品の仕様についてはカタログまたはお買い上げ店にご相談してください。



ショート事故を防ぐために

本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにしてください。

電源コードの色分け

赤色コード	アクセサリー(ACC)電源入力コード。 車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れて、ACCにすると電源が入るところ(ラジオ回路など)に接続します。
黄色コード	バッテリー(BAT)電源入力コード。 車のキーに関係なく、常時通電しているところに接続します。ディスプレイのOFFボタン、リモコンのOFFボタンを押すか、イグニッションキーをOFFにすると、メモリー保持用の電流だけが流れます。
黒色コード	アース用コード。 車体の金属部分に確実にアースしてください。

ヒューズ

電源コードの中間にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズケースに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。

! 警告 安全のために

警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

△注意 この表示の注意事項を守らないと、燃電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。



! 警告 下記の注意を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース車専用です
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。



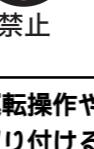
助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける

動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働きかけの原因となります。



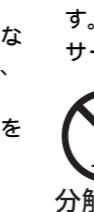
雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をすると、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシャートレールなどの可動部にコード類をさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



分解禁止



取り付け、接続作業をするときには、必ずイグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく

イグニッションキーをONにしたまま作業をすると、バッテリーがあがりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの危険があります。



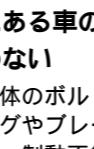
ヒューズ

ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



ヒューズ

ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



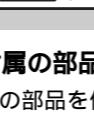
ヒューズ

ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



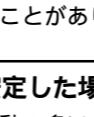
ヒューズ

ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



ヒューズ

ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



ヒューズ

ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



ヒューズ

ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

SONY®

コンパクトディスク チェンジャーシステム

取り付けと接続

お買上げいただきありがとうございます。

△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この「取り付けと接続」および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買上げ店に依頼する
本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一本機を自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因になります。

CDX-525RF

Sony Corporation © 1999 Printed in Japan

取り付け/接続部品(付属)



ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

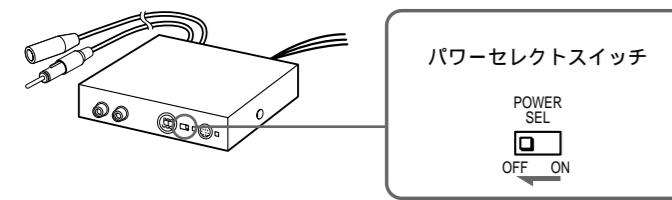
●東京(03)5448-5311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111



初期設定が必要なスイッチ

パワーセレクトスイッチ

イグニッションキーにアクセサリーポジションのない車でお使いになる場合、ハイダウェイユニット側面にあるPOWER SELスイッチをOFFの位置に合わせてください。POWER SELスイッチをONの位置のままでお使いになると電源が切れずにバッテリーが消耗します。POWER SELスイッチの位置を換えたときは、必ずハイダウェイユニット側面にあるリセットボタンを押してください。

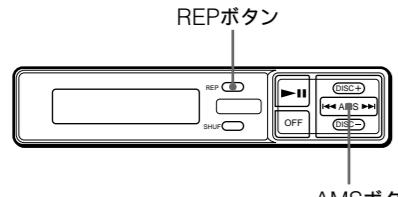


ご注意

パワーセレクトスイッチをOFFでお使いの場合は、停止状態(ディスプレイの表示が消えている状態)からリモコンで本機を作動させることはできません。電源を入れるには、ディスプレイの▶▶ボタンを押してください。

送信周波数を設定する

本機ではCDをFMチューナーで聞きます。そのため、聞いている周波数にFM放送があるとCD再生時に雑音が入ることがあります。その場合は本機からFMチューナーへ送る周波数を変えてください。初期値は88.3MHzです。



1 REPボタンを2秒以上周波数が表示されるまで押す。

2 AMSボタンを押して、周波数を選ぶ。
◀◀を押すたびに周波数は次のように切り換わります。

88.3MHz → 89.9MHz → 89.7MHz → 89.5MHz → 89.3MHz → 89.1MHz →
88.9MHz → 88.7MHz → 88.5MHz

▶▶を押すと逆順に表示されます。

3 最後にREPボタンを2秒以上押す。

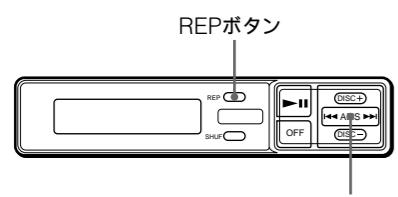
リモコンでも同様に設定できます。

ご注意

本機の周波数を変えたときは、必ずFMチューナーに登録(プリセット)する周波数も変えてください。

出力レベルを設定する

FMチューナーの入力レベルに合わせて本機の出力レベルを設定できます。ひとつは初期値で使用しますが、必要に応じて切り換えてください。リモコンでも同様に設定できます。



1 REPボタンを2秒以上押す。

2 つづけてREPボタンを短く押す。
CD 3 LEVEL 初期値

3 AMSボタン押して、出力レベルを選ぶ。

◀◀でレベルが低くなります。
CD 1 LEVEL

▶▶でレベルが高くなります。
CD 4 LEVEL 00 00

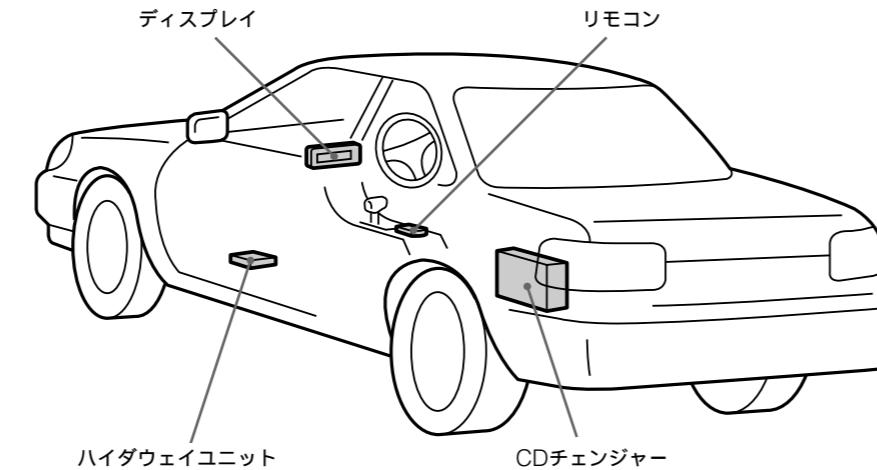
4 最後にREPボタンを2秒以上押す。

取り付け

取り付け場所

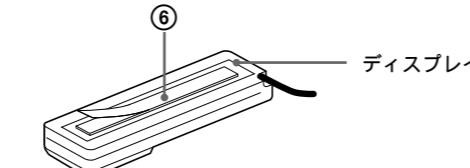
次のような場所に取り付けないでください。

- ・運転の妨げになる所
- ・同乗者の安全を損なう所
- ・グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになる所
- ・しっかりした取り付けのできない振動の多いところ
- ・配線コードやパイプが下を通っているところ
- ・トランク内またはトランク下にあるスペアタイヤ、その他の備品などを傷つけるおそれのあるところ
- ・ほこりの多い所
- ・直射日光やヒーターの熱風などが当たる所
- ・雨が吹き込んだり、水がかかる所、湿気の多い所



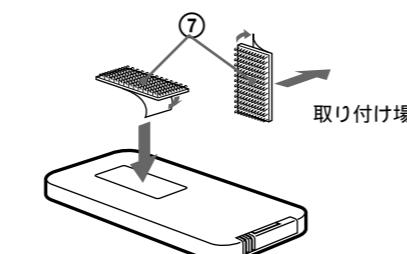
ディスプレイの取り付け

両面テープを貼り付ける場所をきれいにし、⑥で運転の妨げにならない、見やすい位置に取り付けます。



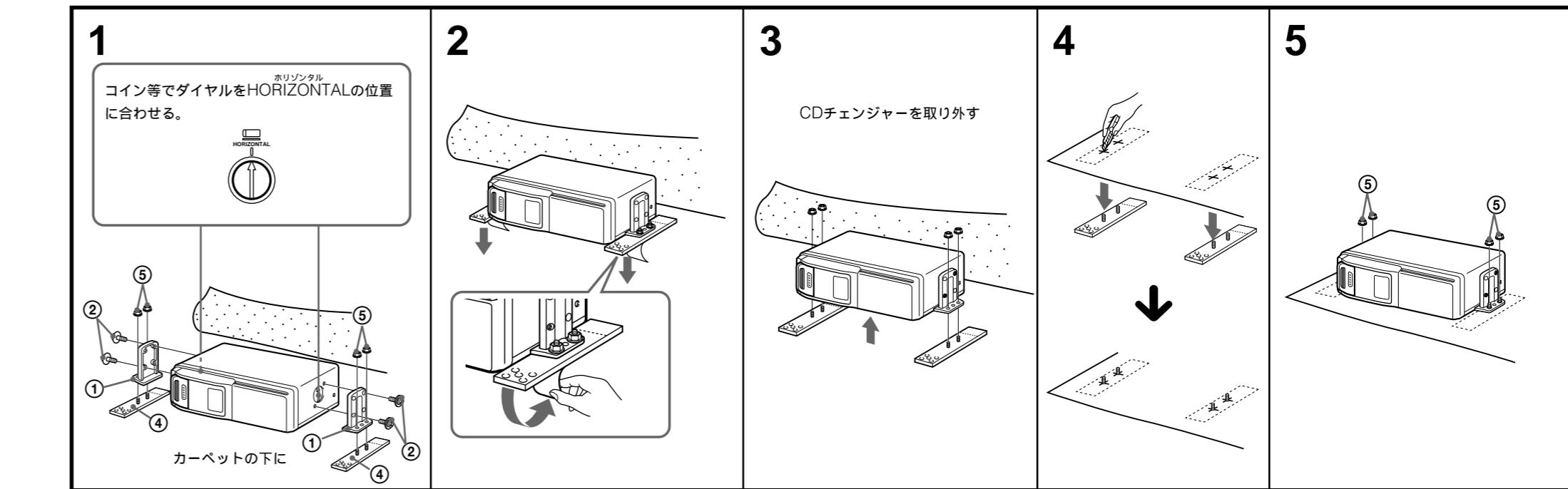
リモコンの取り付け

マジックテープを貼り付ける場所をきれいにし、⑦で運転の妨げにならない位置に取り付けます。

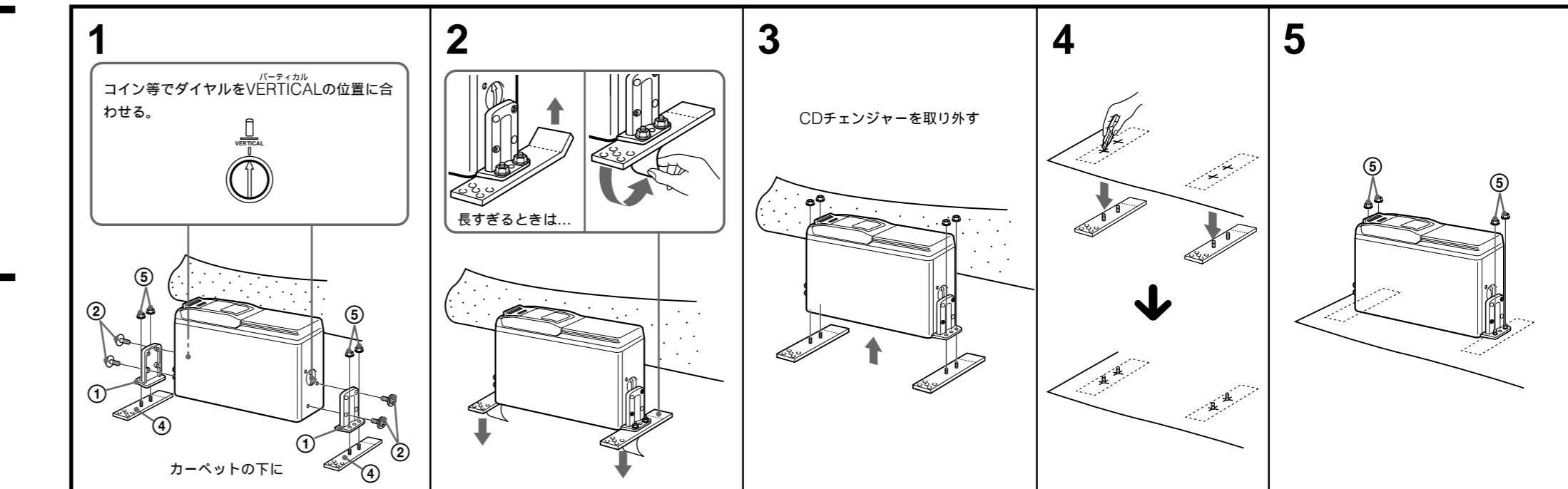


CDチェンジャーの取り付け

横に置いて取り付ける場合



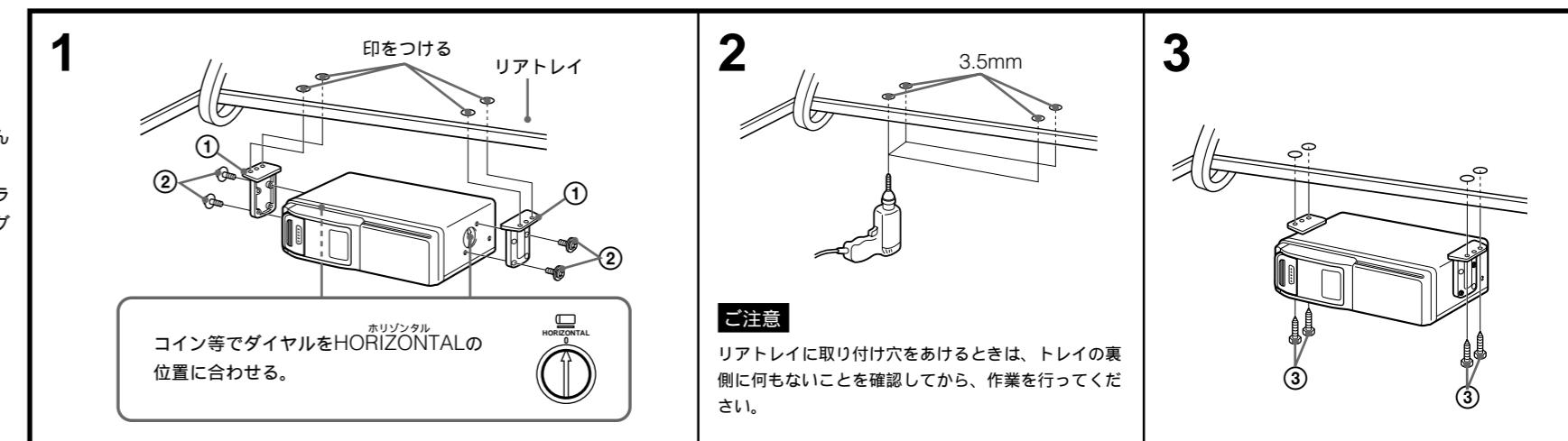
たてに置いて取り付ける場合



吊り下げる取り付ける場合

トランクルームのリアトレイ等に吊り下げる取り付ける場合、以下の点にご注意ください。

- ・本体が水平に取り付けられる場所を選んでください。
- ・トランクリッドの開閉時に、本体とトランクリッドのトーションバースプリングが接触しない場所を選んでください。



傾斜のあるところに取り付ける場合

左右のダイヤル上には5段階の目盛りがあります。本体を取り付けたときにダイヤルの矢印が地面に対して垂直に近くなるように合わせてください。

ご注意

左右のダイヤルの矢印は、必ず同じ位置の目盛りに合わせてください。

